

◇再生可能エネルギー導入と二酸化炭素削減

- 政府のカーボンニュートラル宣言により、二酸化炭素の排出量削減に関する議論が加速。
- 県内における再生可能エネルギーの導入と、県内外における二酸化炭素削減との関係について整理し、見える化を図り、再エネ導入の意義をさらに周知していくことが重要。

カーボンニュートラル

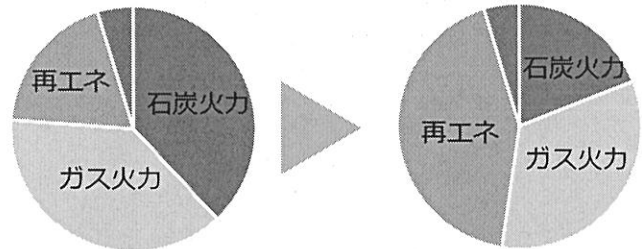
第203回国会における内閣総理大臣所信表明演説（2020年10月26日）＜抜粋＞

我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。

この宣言を受け、2020年12月25日の成長戦略会議において「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が取りまとめられた。

二酸化炭素削減効果の見える化

＜電力に占める電源構成のイメージ＞



電力に占める再エネ比率が増加すれば、電力使用のCO2排出係数は低下する。
再エネ導入によるCO2削減効果を、年度毎に見える化するためには、1つの基準年や、基準となるCO2排出係数の設定が必要。

FIT法施行前であり、震災の年である2011年を基準年とし、その年の東北電力（株）調整後排出係数を基準とした場合。

0.000546t-CO2/kWh

◇再生可能エネルギー導入目標（たたき台）

2040年頃を目途に、県内のエネルギー需要量の100%以上に相当する量のエネルギーを再生可能エネルギーで生み出す。

種 類	新ビジョンのベース		目標 再エネ65～70%	
	2019 (H31) 年度【実績】		2030 (R12) 年度【目標】	
	原油換算 (kℓ)	設備容量 (kW)	原油換算 (kℓ)	設備容量 (kW)
電 力	太陽光発電	739,189 2,109,500	1,052,305 3,000,000	
	風力発電	81,370 176,675	385,564 700,000	
	大規模水力発電	1,582,630 3,971,230	1,583,336 3,972,000	
	小水力発電	23,938 17,158	26,509 19,000	
	地熱発電（従来型）	35,876 30,000	35,876 30,000	
	地熱バイナリー発電	614 440	698 500	
	バイオマス発電	284,478 250,403	511,236 450,000	
	小計	2,748,095 6,555,406	3,595,522 8,171,500	
熱	小計	158,331	170,000	
合計	2,906,426	6,555,406	3,765,522	8,171,500
一次エネルギー供給	8,381,374		5,574,965	
一次エネルギー供給に占める割合	34.7%		67.5%	
CO2換算 (千t-CO2)	6,302		8,165	